

教委＝加藤朝夫教育長 小笠原尚一学校教育課長 齋田強一指導主事
知教労＝草 敏弘 佐田京美 岡崎良久

1 多忙化解消について

(組合)

勤務時間調査では、東海市の小学校で100時間以上の人が減ったが、中学校はまだ過労死レベルの人が多く、中には197時間の人もいる。タイムカードやICカードできちんと記録してほしい。夏休みの閉庁などの多忙化解消の計画を聞かせてほしい。

(教育長)

多忙化解消検討委員会を設置し、管理職・主任も入ってアンケートも実施している。その中から、取り組めるところから実施したい。9月には、部活動のガイドラインを保護者向けに出した。夏の朝部活をやめる。土日のうち1回は休み。2学期から動いている。大会で過熱化する時期はあるだろうが、現場はガイドラインに従ってほしい。期間が短いので意見集約はまだしていない。

(組合)

検討委員会の議事録は公表されているのか。今後の取り組みはどうか。

(教育長)

校長会を通して。ガイドラインは事前に知らせている。私の方から、多忙化を解消するように年度当初に伝えてある。アンケートの中には、留守電機能をつけてほしいという要望もあるので、できるところから取り組む。夏休みの行事を組まない期間の数日を閉校にしたい。留守電も決めた時間以降は電話を取らなくていいようにしたい。そのために予算要望もしていく。

(組合)

部活動のガイドラインの点検はしているのか。

(教育長)

すぐにはできないが、アンケートを実施していきたい。部活動については、保護者に両極端の意見があり、教育委員会が強引にやることは難しい。社会体育への移行も考えていかないといけない。部活動に対する多忙感を解消する仕組みも話し合っている。市が児童・生徒の受け皿を充実して学校外の活動を充実していきたい。今はまだ案の段階だが、指導者の認定をすすめて派遣も考えていきたい。予算や仕組みづくりがあるものはすぐにはできない。トップダウンでやることはない。

(組合)

4月の過労死レベルはどうするのか。

(教育長)

産業医の診断を受けなさいと言う指示はしなければいけないかもしれない。去年は産業医に1人受けた。

(組合)

現場の教員の意識改革をどう進めていくのか。

(主事)

80時間越えの人数が少しずつだが減ってきている。職員に浸透していく部分がある。

(組合)

教育委員会からも宣伝し、意識改革を是非進めてほしい。

(教育長)

ストレスチェックを実施した。その結果から、先生たちの意識も変えていきたい。

(組合)

ストレスチェックのあとの対応は？

(主事)

個人の結果を管理職はみられないが、来週の校長会で学校の職員の傾向を見てもらう。

(組合)

市の多忙化解消プランは？

(教育長)

多忙化解消検討委員会を立ち上げた。事務、養教、なども入っている。部活動ガイドラインを1学期に検討し9月に出した。取り組みの1つが閉校方式。もう1つは、学校に先生たちが遅くまでいることから保護者が遅い時間に電話をかけてくるので、留守電の予算要望をしている。今すぐできることばかりではない。強く要望していく。

(主事)

日常の留守電の運用の仕方については、現場の声も聴きながら、保護者との信頼関係も維持していかないといけないので、何時からがいいのか設置を前提で検討している。予算が通れば、保護者への周知の仕方について検討し、整理して通知したい。

(教育長)

予算の決定は、最終的には3月。

(組合)

県教育委員会の話し合いでは、朝7時半開錠、夜は8時に施錠といった時間も検討している。

(教育長)

県と違わないような形にしたいが、独自の部分もあるし、留守電についてもまだ細かい部分を決めていないので現場が困らないように、また保護者から不信感をもたれないように運用を考えていきたい。

(組合)

阿久比町は、11月、12月の部活動を止める方向で検討しているが東海市はどうか。

(教育長)

今のところ考えていない。

(組合)

県の多忙化解消プランには、長時間勤務者を減らす年度毎の数値目標が設けられているが、東海市はどうか。

(主事)

小学校については、記載内容が正確かどうかという問題もあるが、年間5パーセントの目標は達成できている。中学校は、まだ目標値に届かないので働きかけていく。

(組合)

多忙化解消検討委員会で、他にどんなことが話題に出ているのか。

(主事)

前半は主に部活動の事が話題になった。今後やっていけないといけないのは、ドッジボール大会や小中音楽会などの行事を根本的にどのようにしていくのか、後半はメインに話をしていきたい。

(組合)

多忙化解消検討委員会のサイクルはどれくらいか。

(主事)

2ヶ月に1度ほど。今まで3回やっている。後半、具体的なことはまだ決まっていない。広い意味で行事について取り上げる。

(組合)

一般職員の意見を聴く場があるのか

(主事)

現場から乖離しては意味がないので、職員に対して部活等の問題について一般的なアンケートを実施した。意見はたくさん出ている。今後、小中職員に、行事についてもアンケートをとりたい。

(組合)

学校訪問の今後のあり方はどうか。

(教育長)

校長には、「特別な授業ではなく、普通の授業を見せてほしい。」と言ってある。校区の先生方も参観できるように、授業を公開して小中の連携を図りながら、生きた授業、学校訪問にしたい。学校訪問を止めるとかの議論はしていない。

2 その他

(組合)

校務は、教諭なのに雑務が多くなかなか授業をもつことができないので、校務の仕事専任の用務員さんを採用できないか。

(課長)

シルバー人材センターや業者委託で対応している。

(組合)

タイムカード、ICカードの活用は考えているか。

(教育長)

やれることからやる。タイムカードなどは積極的にはやっていない。まずは留守電。今は貧困の実態調査をしている。今後3年は財政に伸びがないので優先順位を悩んでいる。先生方に「よかったな。変わってきたな。」と言われるようにしていきたいと思っている。エアコンも毎年予算要望を出している。

(組合)

清掃センターに見学に行くのにバスを借りる。費用を1,000円くらいかけて見学に行っている。

(教育長)

校外学習用のバスは借り上げているが、細かいところまでは出せていない。

(組合)

学校の差が大きい。補助が出ると助かる。

(教育長)

市のバスは難しい。

(組合)

行事が多い。そういう行事を減らす方向はないか。

(教育長)

いろいろなところで話がある。ドッジボール大会は10年にもなるので、見直しをするように話をしてい

る。休日の勤務や過熱化などの問題もあるので、現場の意向を大事にしながら見直しの改善も進めて行く。

(組合)

職場に、来年どこかの学年がレゴランドに行かないといけないという話がある。

(教育長)

名古屋市と東海市の関係がある。名古屋市はレゴランドの活用というのがある。低学年は楽しめる。校外学習用でレゴランドも対応してくれる。15~20分で行ける。

(組合)

開園が10時。アトラクションは10時半からで、身長制限等問題もあるが、学校に行ってほしいと話をしているのか。

(教育長)

校長会で視察してほしい。行く方向で考えてほしいと校長には言っている。レゴランドには、いろいろ要望もしている。

(組合)

行くか行かないかは、学校が決めるのかどうか。

(教育長)

なるべく行くようにとは言っている。行っても中学年までかなと考えている。

(組合)

学校の方から行きたいという要望があったのか。

(教育長)

要望はない。

(組合)

内容的に、校外学習に合うのかどうか。

(教育長)

校外学習の別枠で考えてほしい。遠足になるとは思う。1日取るのは難しいかもしれないが、下見してレゴランドに要望を出せばいい。要望は確認中。

(組合)

学力状況調査の事前対策は、やっているか。

(教育長)

基本的にはやっていないが、授業内容とテスト内容が違うので、授業で工夫してほしいと話している。無答率が問題。答えられないというのは、授業とテストがかけ離れている。

(組合)

バウハラ防止指針は県が職員に配付するように決めたそうなので、配ってほしい。

(教育長)

きちっと対応する。

(組合)

県の多忙化解消プランを知らない先生が多い。

(教育長)

多忙化解消検討委員会の内容も含めて知らせていきたい。

(組合)

データでもよいから知らしてほしい。

(組合)

通知表の通信欄を三学期だけにするとか、予算がなくても取り組めるものもあるので積極的に取り組んでいただきたい。